

海外展開のスズメ

事例編 パート⑥

福栄 イカを中心に海外展開

国際センター
とっぴス

このコーナーでは、とっとり国際ビジネスセンター(竹内団地、夢みなどタワー内)が境港から海外への展開を積極的に行っている企業へのインタビューを掲載しています。今回紹介するのは、(株)福栄(昭和町、岩田謙二郎社長)です。

―商品輸出の状況について、教えてください。―

「イカの加工品を香港、台湾、シンガポールに輸出しています。なかでも、香港には『いかげそ竜田揚げ』をメインで出荷してい

ますが、きっかけは、国際ビジネスセンターからの紹介でした。本年7月には、香港から大手水産輸入卸会社の社長が来社。『竜田揚げがお客様にたいへん好評で、いくらでも商品を出してほしい』と言われました」

―これから取引が拡大しそうですね。―

「しかし、原料となるイカがここ数年不漁です。スルメイカの漁獲量が少なく、竜田揚げの原料になるムラサキイカがその代用にされ、値段が高騰しています。原材料を地元産にこだわると、自然の影響を大きく受けます。それでも、この4年で培った香港の取引先の信頼を損なわないよう努力

していくつもりです」

―今後、どのような展開を考えておられますか。―

「イカだけでなく、境港で水揚げされるイワシ、アジ、サバなどを原料にして、製品の幅を広げたいと思っています。水産業は自然が相手。当社の地元産へのこだわりは捨てずに、新製品の提案をしていきたいです」

―インタビュを終えて

同社は、イカ釣り船など3隻の漁船を所有していま



香港に輸出している主力商品を紹介する岩田謙二郎社長

したが、漁船の老朽化や船員の高齢化で現在は1隻となり、「船がなくなることへの寂しさがある」と岩田社長は話しました。漁とのつながりは同社の礎。今後とも、そのつながりを大切にしていただきたいと思っています。詳しくは、当センター(☎30-3161)まで。